

師走の庭園でほっと一息

大名庭園でお正月

当園は、年内 12 月 28 日(日)まで開園、12 月 29 日(月)～1 月 1 日(木・祝)の期間はお休みをいただき、新年は 1 月 2 日(金)より『大名庭園でお正月』と題し、下記の催し物で、みなさまをお迎えいたします。

日時：1 月 2 日(金)・3 日(土)
9 時～17 時(最終入園は 16 時 30 分)

①懐かしい正月遊び

松原にて、羽根つきや独楽(こま)まわしなど懐かしい正月遊びをお楽しみください。
(10 時～15 時 30 分、参加費無料(入園料別途)、雨天中止)

②記念撮影コーナー

シダレザクラ前広場に、正月らしい設え(しつらえ)の記念撮影コーナーをご用意します。年始の記念に一枚！いかがでしょうか？
(10 時～16 時、参加費無料(入園料別途)雨天中止)

③軽飲食の販売

びいどろ茶寮(涵徳亭内・レストラン)では、和定食や、抹茶と上生菓子セットなどをご提供します。
庭園をご覧いただける店内で、ごゆっくりお過ごしください。
(10 時～16 時(ラストオーダーは 15 時 30 分))

④庭園ガイド

庭園ガイドボランティアと一緒に、新年の庭園散策(約 1 時間)をお楽しみください。
(シダレザクラ前広場集合、11 時・14 時出発。参加費無料(入園料別途)、雨天中止)

新しい年の始まりを、歴史ある庭園でお過ごしください。

なお、びいどろ茶寮(涵徳亭内・レストラン)は、年内 12 月 25 日(木)までの営業になります。



《昨年 12 月中旬・円月橋周辺》

早いもので、今年も残すところ、ひと月足らずになりました。

園内では、ところどころに咲くサザンカ(山茶花)が冬を迎えた庭園に彩を添えています。これからは、早咲き品種のウメ(梅)、ロウバイ(蜡梅)やソシンロウバイ(素心蜡梅)、ニホンスイセン(日本水仙)など、寒さに強い花たちが活躍する季節。

年末の慌ただしい時期になりますが、昼間、暖かい時間の園内で「ひと休み」のお時間もどうぞ！

冬の風物詩を愛でる

今年も園内では「冬の風物詩」の「雪吊り」や、「菰(こも)巻き」などを、ご覧いただけるようになりました。

北陸地方など豪雪地帯で多く見られる「雪吊り」は、マツなどに施され、積もった雪の重みによる枝折れや、樹形の崩れを防止します。

雪の少ない東京では目に触れる機会も少なくなっていますが、都立庭園では、1980 年(昭和 55 年)ごろより、技能伝承として代々の庭師に受け継がれています。

都立庭園の雪吊りには「北部式」「南部式」の名前がつけられています。これは、かつて都立庭園の管理を東京都の北部・南部の公園緑地事務所が行っていたことに由来し、それぞれを担当していた親方の手法が、2 つの仕様になりました。

わかりやすい違いのひとつは、雪吊りの頂点に施される飾りです。「北部式」の当園の飾りは、藁(わら)を編み上げた「わらぼっち」と呼ばれるもの。しかも、当園の「わらぼっち」は、園内の田んぼで収穫されたワラから、庭師たちが、折れや汚れがない状態の良いものだけを選び出す「ワラスぐり」と呼ばれる作業を経るなど、見た目にもこだわって作っています。どうぞ、こちらにも、ご注目ください。

江戸時代、この庭園を完成させた水戸徳川家・二代目藩主の光圀が、三代目藩主の夫人に農民の苦勞と、農業の大切さを伝えるために造ったといわれる田んぼは、現在、文京区立柳町小学校のみなさんと当園の庭師に、受け継がれています。

当園の公式 X(旧 Twitter)の 11 月 25 日版(検索ワード#小石川後楽園の庭仕事)では田んぼの 1 年を 2 分弱にまとめた動画をアップしています。庭師たちの奮闘ぶりも、ぜひ、ご覧ください。

かわら版

小石川後楽園

第 178 号

令和 7 年
12 月 10 日
発行

お得な年間パスポート

- 小石川後楽園用●
一般:1,200 円
65 歳以上:600 円
- 都立 9 庭園用
一般:4,000 円
65 歳以上:2,000 円

庭園ガイドボランティアによる庭園英語ガイドツアーは、土曜日・10 時 30 分、13 時 30 分にスタート！

X(旧 Twitter) @korakuenGarden



HP「公園へ行こう！」



9 庭園インスタグラム



《内庭の雪吊り》